

鉄道駅等のバリアフリー化の推進 (関係条文)

●高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律〈バリアフリー法〉 (平成18年6月21日法律第91号) 〈抄〉

(国の責務)

第四条 国は、高齢者、障害者等、地方公共団体、施設設置管理者その他の関係者と協力して、基本方針及びこれに基づく施設設置管理者の講ずべき措置の内容その他の移動等円滑化の促進のための施策の内容について、移動等円滑化の進展の状況等を勘案しつつ、これらの者の意見を反映させるために必要な措置を講じた上で、適時に、かつ、適切な方法により検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(地方公共団体の責務)

第五条 地方公共団体は、国の施策に準じて、移動等円滑化を促進するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(公共交通事業者等の基準適合義務等)

第八条 公共交通事業者等は、旅客施設を新たに建設し、若しくは旅客施設について主務省令で定める大規模な改良を行うとき又は車両等を新たにその事業の用に供するときは、当該旅客施設又は車両等(以下「新設旅客施設等」という。)を、移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する主務省令で定める基準(以下「公共交通移動等円滑化基準」という。)に適合させなければならない。

3 公共交通事業者等は、その事業の用に供する旅客施設及び車両等(新設旅客施設等を除く。)を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(資金の確保等)

第五十二条 国は、移動等円滑化を促進するために必要な資金の確保その他の措置を講ずるよう努めなければならない。

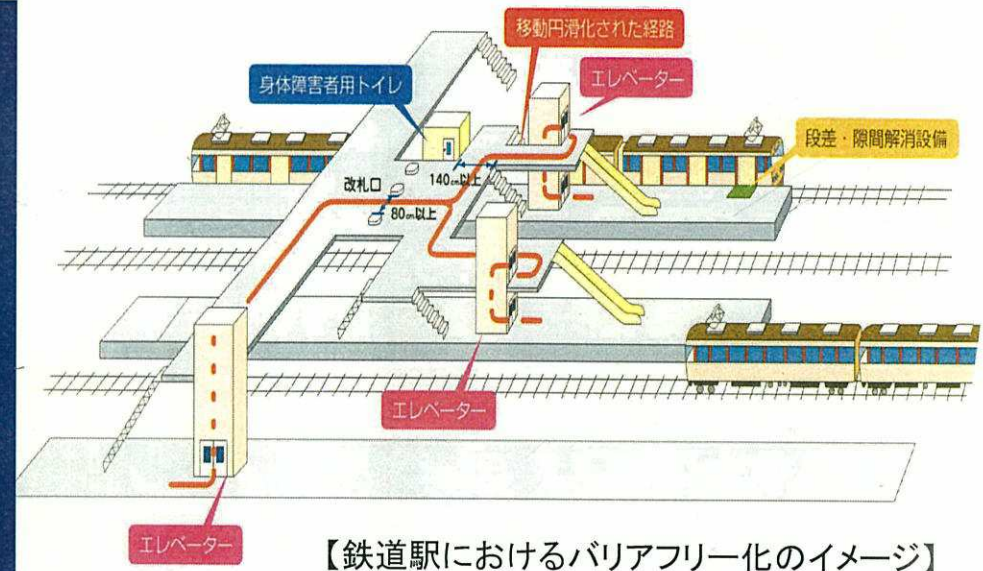
2 国は、移動等円滑化に関する情報提供の確保並びに研究開発の推進及びその成果の普及に努めなければならない。

策定の趣旨

公共交通機関(鉄軌道等)を新設及び大規模改良する場合、移動等円滑化基準への適合が義務付けられ、また既存の施設においても、基準適合への努力義務が課される。その主な基準は次のとおりである。

【駅の旅客施設】

- ◆ 駅の出入り口から乗降場へ通ずる経路について、原則としてEV又はスロープにより、高低差を解消する
- ◆ 車いすが通るための幅を確保する。
- ◆ プラットホームと車両の床面とは、できる限り平らで隙間はできる限り小さくする。
- ◆ プラットホームにホームドア、点状ブロック等の他視覚障害者の転落を防止するための設備を設ける。
- ◆ 乗車券等販売所、案内所に筆談用具を設ける…等



【ホームと車両の段差・隙間を小さくした事例】

【車両】

- ◆ 視覚情報及び聴覚情報を提供する設備を備える。
- ◆ 鉄軌道には、車いすスペースを設置する。
- ◆ 鉄軌道のトイレは、高齢者、障害者等の円滑な利用に適した構造とする。
- ◆ 通路及び客室内には手すりを設置する…等

策定の趣旨

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が施行されたことを受け、公共交通機関の旅客施設・車両等の望ましい整備内容等を示すガイドラインを次のとおり策定することとした。

【策定対象ガイドライン】

①バリアフリー整備ガイドライン(旅客施設編)

②バリアフリー整備ガイドライン(車両等編)

本整備ガイドラインは、旅客施設や車両等を整備・導入する際に義務として従わなければならないものではないが、公共交通事業者等は、これを目安として旅客施設・車両等の整備等を行うことが望ましい。

その主な内容は次のとおりである。

【駅の旅客施設】

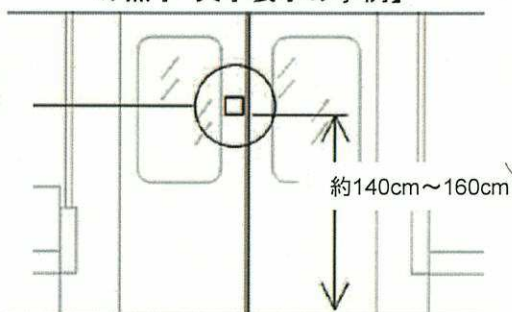
- ◆ 主動線以外の他の経路についても可能な限りバリアフリー化する。
- ◆ 90cm以上の幅を確保した改札口を1以上確保する。
- ◆ ホームドア等の可動部の開閉を音声や音響で知らせる。…等

【車両】

- ◆ 90cm以上の幅を確保した乗降口を1以上設ける。
- ◆ 号車番号等を車内乗降口扉に点字等表示する。
- ◆ 車両には車いすスペースを設置する。
- ◆ 客室にトイレを設置する場合は、1列車に1以上多機能トイレを設ける。
- ◆ 次駅名を文字及び音声による案内を提供する。…等

【号車及び乗降口位置等の点字・文字表示の事例】

号車及び乗降口位置(扉番号)等の文字・点字表示



【吊り手の事例】



【案内表示装置の事例】



鉄道駅のバリアフリー化の推進

- バリアフリー法に基づく「基本方針」において、平成32年度までに、利用者数3,000人/日以上の駅について、原則として全てバリアフリー化を実施することを目標としている。

Target: Achieve full accessibility in all the stations whose number of users is over 3,000 persons/day by fiscal year of 2020

- 同方針において、ホームドアについては、優先的に整備すべき駅を検討し、可能な限り整備を促進する、としている。また、交通政策基本計画において、平成32年度までに約800駅とする目標を設定している。

The number of the stations which have automatic platform gates is especially intensively increased, up to approx. 800 by 2020

- こうした目標達成のため、国、地方公共団体による支援(補助)を実施している。

Financial support by national/regional gov't is provided to achieve this target

Progress

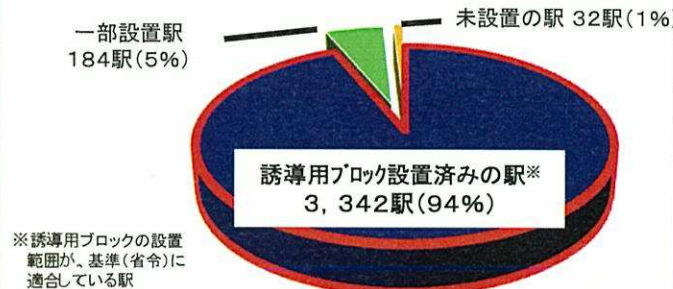
段差解消状況 Pathway without steps

利用者数3,000人/日以上の3,559駅のうち、**3,098駅(87%)**が段差解消 (平成29年3月末)



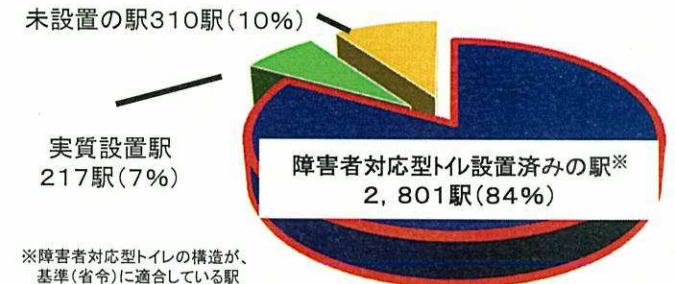
誘導用ブロック設置状況 Textured paving block

利用者数3,000人/日以上の3,559駅のうち、**3,342駅(94%)**に設置済み(平成29年3月末)



障害者対応型トイレ設置状況 Universal design WC

利用者数3,000人/日以上のトイレを設置している3,328駅のうち、**2,801駅(84%)**に設置済み(平成29年3月末)



【ホームドアについて】

全国686駅に整備。利用者数10万人/日以上の駅(266駅)は85駅に整備

《ホームドア整備の課題》

- ・車両扉の不一致
- ・設置コスト



ホームドア(転落防止)

Automatic platform gate (to avoid passengers falling onto tracks)

鉄道駅のバリアフリー化設備



エレベーター(段差解消)

Elevators (pathway without steps)



視覚障害者誘導用ブロック

Textured paving block



障害者対応型トイレ

Universal design WC

鉄道駅のバリアフリー化に対する補助制度

バリアフリー化等に対する補助制度

Governmental Support Structure for Enhancement of Accessibilities of Railway Stations

【地域公共交通確保維持改善事業】

平成29年度予算 214億円の内数

〈対象事業者〉 JR、民鉄

<Recipients> JR, Private railway operators

〈補助対象事業〉 ホームドア、内方線付き点状ブロックの整備 等

〈補助率〉 1/3



(地域公共交通バリア解消促進等事業)

【訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業】

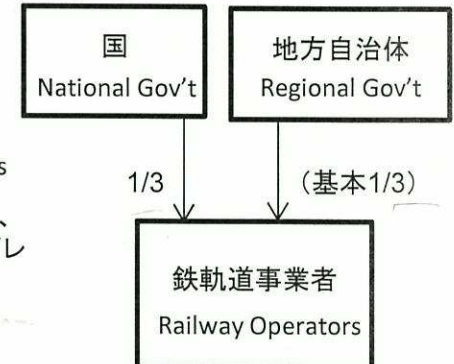
平成29年度予算 85億円の内数

〈対象事業者〉 JR、民鉄

<Recipients> JR, Private railway operators

〈補助対象事業〉 エレベーター、スロープ、ホームドア、多機能トイレの整備 等

〈補助率〉 1/3



(交通サービス利便向上促進等事業)

【都市鉄道整備事業】

平成29年度予算 41億円の内数

〈対象事業者〉 地下鉄事業者

<Recipients> Subway operators

〈補助対象事業〉 エレベーター、ホームドア、多機能トイレの整備 等

〈補助率〉 35%



【鉄道駅総合改善事業】 (次世代ステーション創造事業)

平成29年度予算 16億円の内数

〈対象事業者〉 JR、民鉄

<Recipients> JR, Private railway operators

〈補助対象事業〉 駅改良と併せて行うバリアフリー施設等の整備

〈補助率〉 1/3

